

ウィル

枚方市男女共生フロアだより 令和4(2022)年6月発行

◆6月23日から6月29日は「男女共同参画週間」です◆

毎年6月23日から29日までの一週間は、男女共同参画社会基本法の施行（平成11年（1999年）6月23日）を踏まえ、「男女共同参画週間」とされており、様々な取組を通じて、法の目的や基本理念についての理解を深めることを目指しています。

今年は、「可能性を信じ、それぞれの個性と多様性を尊重し、前向きに生きがいを感じられる社会を実現していくためには？」を重点に置き、キャッチフレーズは『「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ』です。

男女共同参画を進める中で、ジェンダーギャップ指数や企業等における女性管理職の割合等が掲げられますが、「女性活躍」は目的ではなく、今の女性が活躍できていないという意味でもありません。

女性管理職の割合を高めようとしているのは、企業において大切な方針を決定をする場等に女性が少ないこと、または、居ないことにより、女性の意見が方針に反映されにくいことを問題視し、その状況を改善しようとするものです。「なぜ女性活躍を進めるのか」という目的や理由等を忘れないことが大切です。

さて、これまでの社会背景や日常の生活から、無意識のうちに思い込んでいること、偏見、先入観は、少なからず誰にでもあります。「男は仕事、家事は女がすること」、「女性は結婚して養ってもらうもの」、「看護や介護等のお世話する仕事は女性が合っている」、「理系は男性が向いている」等の考えを持っている人も多いかもかもしれません。このような何気ない「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見や思い込み）」の積み重ねが、進路選択や就職にも影響しています。また、女性が参画しにくい社会にも影響していると考えられています。

本市では、毎年、男女共同週間事業として講演会等を実施しており、今年度は、一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所の守屋智敬氏による講演「無意識の思い込みに気づけば人生が変わる～アンコンシャスバイアスを知る、気づく、対処する～」を動画配信する予定です。

自身のアンコンシャス・バイアスに気づき、ありのままの自分や目の前にいる相手と向きあって、どのように行動していくのか。

「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会に向けて、まず、自分のアンコンシャス・バイアスを知ってみませんか？

● contents

ウィルコラム 生理用品の無償配布に向けた実証実験を実施します
生理用品に関するアンケート 図書紹介 男女共同参画週間事業のお知らせ



生理用品の無償配置に向けた実証実験を実施します！ だれもが過ごしやすい社会の実現、ジェンダーギャップの解消に向けて～

枚方市では令和4年度(2022年度)の市政運営方針で身体的性差への理解促進を図るとともに、その性差を踏まえ女性の負担軽減につながるものとして、市庁舎等への生理用品の配置に向けた取組の推進を掲げています。

生理用品は月経がある人が安心して学び、働き、生活し、自己実現するために必要不可欠なものです。必要なときに必要な方がいつでも生理用品を受け取れる取り組みの第一歩として、枚方市は公民連携事業として、株式会社ネクイノ（以下「ネクイノ」という。）と協定を締結して、ネクイノが提供する生理用品無償配布サービス「toreluna（以下「トレルナ」という。）」を活用した実証実験を6月24日から9月20日まで実施します。

トレルナ 実証機



※ トレルナ実証機は合計5台。

順次市役所的女子トイレ個室内に設置されます ※

How to use

- 1 スマートフォンにトレルナアプリをインストール
- 2 トレルナディスペンサー付近に貼ってあるQRコードをアプリから読み込む
- 3 生理用ナプキンが1個出てくる

2時間後に次のナプキンが受け取れるようになります。

1か月で受け取れるのは7個まで。

翌月に受け取れる個数がリセットされます。

実証実験を通して、トイレトペーパーと同じように生理用ナプキンが必要な時に使えるような仕組みを考えていくとともに、そのような社会になるように啓発を進めていきます。

経済的に困窮する女性に生理用品を無料で配布しています。

令和3年度(2021年度)からコロナ禍等で大幅に収入が減少した女性を対象として生理用ナプキンの無料配布を始めました。希望者は男女共生フロア・ウィル（岡東町12-3-410 サンプラザ3号館4階）で窓口にある専用カードを提示するだけで受け取ることができます。配布している生理用品は災害用備蓄品の一部を活用するもので、昼用と夜用のいずれか1パックを選べます。また、行政相談窓口の一覧チラシも併せて配布することで必要な支援につなげられるよう取り組んでいます。在庫が無くなり次第終了します。

生理用品に関するアンケートを行いました。

◆ 令和3年度にナプキンを配布した方々にアンケートに答えていただきましたので、一部をご紹介します。

Q1. 経済的な事由により、トイレトペーパー等でナプキンの代用をしたこと（考えたこと）はありますか？（回答数109人）

ある 45%

ない 55%

Q2. 生理のことが気になって外出が億劫になることはありますか？ (回答数 103 人)

ある 77%

ない 23%

Q3. コロナ禍で、女性特有の課題等があれば教えてください。(自由記述、一部抜粋)

- ・生理用品にはお金がかかる。特に学生にはこういった支援が必要。
- ・サニタリーショーツの配布も検討して頂きたい。
- ・生理用品の配布は大変助かる。
- ・月に1度、配布してほしい。配布している国があると聞いた。
- ・シングルなので自分にお金をかけられない。 ・出会いが減少
- ・メンタルが落ち込みやすい。 ・女の子が多く毎月生理があるので助かる。
- ・仕事が少ない。 ・仕事が減り、ホルモンバランスが不調。



◆ 枚方市公式LINEアカウントで令和4年(2022年)5月に配信したスマホアンケートの中で生理に関する質問をいくつかしました。

Q1. 商業施設、公共施設、会社、学校などに生理用ナプキンが無料で使えるサービスがあれば利用したいですか？

はい 71.6%

いいえ 10.3%

わからない 18.1%

(回答数 630 人)

Q2. 生理について多くの人の理解が深まるような啓発が必要だと思いますか？

はい 78%

いいえ 4%

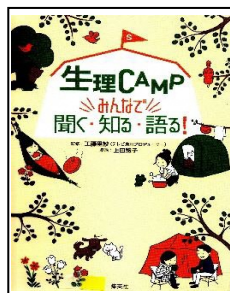
わからない 18%

(回答数 1217 人)

普段の会話では、生理について触れる機会があまり無い方もいるかと思いますが、アンケートを取ると、皆さん生理について色々な思いがあることがわかりました。枚方市では、これからも女性特有の健康問題やジェンダーギャップの解消に向けて啓発を進めていきます。

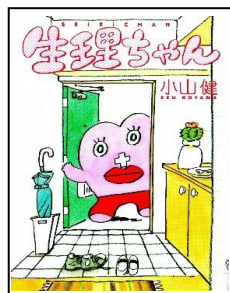
図書ラインナップ ～ウィル図書コーナーから～

知ろう・・・語り合おう・・・自分の体のこと ありのままの自分を大切にするために・・・



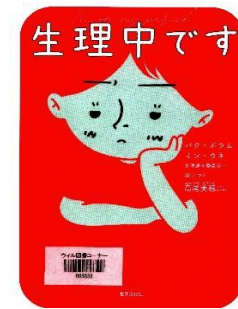
『生理 CAMP みんなで聞く・知る・語る！』

監修：工藤里紗 漫画：上田惣子
100 いれば 100 通りの生理があり、
100 通りのストーリーがある。タレント、アスリートをはじめとする様々な立場の人が生理について語る1冊。



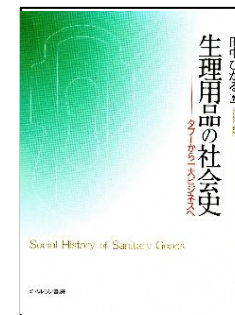
『生理ちゃん』 著者：小山健

タブー視され、語られる機会の少ない女性の生理を擬人化し女性の人生に寄り添う漫画。生理にまつわる女性の悩みや辛さを「生理ちゃん」が代弁し多くの共感を得て、2019年に映画化された。



『生理中です』

著者：パク・ボラム、ミン・ウネ
医学監修：高尾美穂（医学博士）
生理痛や月経前症候群（PMS）、生理不順、更年期障害など人に相談できない女性の悩みに医学的視点で答える。自分の体のことを知り生理とうまく付き合っていくための参考書。



『生理用品の社会史』

著者：田中ひかる
いまや日本の生理用ナプキンは世界最高水準にあるが、半世紀前には欧米と比べてかなり遅れていた。なぜ、日本では長い間生理用品が進化しなかったのか。なぜ短期間で発展を遂げたのか。日本独自の発展史を描く。

動画講演会（字幕付き）

枚方市男女共同参画週間事業 ひらかたポイント

対象事業

無意識の思い込みに気づけば人生が変わる

アンコンシャスバイアスを知る、気づく、対処する



日常生活で
こんな風に思うこと
ありませんか？

動画: 45 分程度



【講師】 守屋 智敬

（一社）アンコンシャスバイアス研究所 代表理事
（株）モリヤコンサルティング 代表取締役

アンコンシャスバイアスとは、「無意識に“こうだ”と思う」こと。日常にあふれていて、誰にでもあるものです。講座では、「アンコンシャスバイアスとは？」「何が問題になるの？」「気づかなかつたらどんな影響があるの？」について知り、「どう対処していけばよいのか」について考えます。

動画配信期間 先着：300人
7月27日～8月9日

申込 7月1日(金)午前9時から。

枚方市ホームページ(コード参照)の専用フォームで
枚方市男女共生フロア・ウィルへ。

インターネット環境のない場合は
ウィルへお問い合わせください。



市ホームページ

インターネット環境のない方、手話通訳が必要な方は・・・

動画上映会 ※配信動画と同内容です

8月4日(木) 午前10時～11時 先着：15人

男女共同参画活動ルーム（ひらかたサンプラザ3号館5階）

申込 7月1日(金)午前9時から。

枚方市ホームページの専用フォームもしくは電話、電子メール、ファクスに動画上映会希望の旨と、氏名・電話番号、手話通訳・保育（保育は生後6カ月～就学前児。無料。先着5人）の有無を記入の上、枚方市男女共生フロア・ウィルへ。手話通訳・保育は7月25日(月)までに要予約。

枚方市 男女共生フロア・ウィル

TEL 072-843-5636 FAX 072-843-5637

E-mail jinken@city.hirakata.osaka.jp

業務時間 9:00～17:30 (土日祝日、年末年始休所)

※ただし、火・木は20:00まで、第1土曜日は9:00～17:30まで受付

【女性相談のご案内 お問い合わせ申し込みはウィルへ】

電話相談（専用電話072-843-7860） 火曜日:15:00～20:00 水曜日:13:00～17:00 木曜日:10:00～15:00
面接相談（面談 要予約） 水曜日:13:00～16:10 木曜日:14:50～19:30 金曜日:10:00～15:00
法律相談（面談 要予約 1人1年度1回限り） 第1土曜日・第4火曜日:10:20～12:50 第2金曜日:13:20～15:50 第3木曜日:17:20～19:50
【男性電話相談】（専用電話072-843-5730） 第1土曜日:14:00～17:00 第4木曜日:18:00～20:00
【LGBT電話相談】（専用電話072-843-5730） 第1木曜日:15:00～20:00

